



学校だより

空青々

第 3 号

鹿児島市立伊敷台中学校
令和2年7月31日発行

人の役に立つ喜び

校長 平田 和利

明治の幕開けの時期に、北海道開拓を進めるために、日本政府が札幌農学校にアメリカから招いたクラーク博士が、教鞭を終えて日本を去るときに教え子たちに残した言葉「少年よ 大志を抱け」という有名な言葉があります。

この言葉の後には、「大志」の意味を具体的に説明した続きの言葉があります。「少年よ 大志を抱け。お金のためではなく、私欲のためでもなく、名声と言う名の空虚な志のためでもない。人間が人間として当然備えていなければならぬ あらゆることを成し遂げるために大志を抱け。」というものです。つまり、お金とか名誉とかのために生きるのではなく、様々なことを学び、備える事で、人のために役立つ大志を抱くということです。

私たち人間は、一人では生きていけません。周りの人に助けられたり、周りの人を助けたり、お互いに支え合って生きています。

令和元年度全国学力・学習状況調査の質問紙から、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の設問に、「当てはまる」と回答している生徒が本校：77.6%、鹿児島県：72.8%、全国：71.1%で県や全国よりも高くなっています。

普段から自分の働きが周りの人の役に立っていることを知っている生徒は、いろんな場面で自ら人の役に立とうとします。例えば、周りで困っている人を優しい言葉や行動で助けようとしています。また、学校生活の中で誰かがやらなければならないことを自分から率先してやります。さらに下校時にバスで席をゆずります。これが社会的なマナーです。

人の役に立つ喜びを知っている生徒は、これを「やりなさい。」と言われなくても自分で気づき、考えて、行動します。

学校と家庭が今まで以上に連携して、台中の生徒の心に「人の役に立つ種」をたくさん植えたいものです。よろしくお祈りします。

☆あじさい週間実施☆

昨年度から、生徒や教師が授業を評価し、それを基に、教師は授業改善、生徒は授業への取り組みを振り返る、ということに力を入れる週間を「あじさい週間」とし、6月、11月、1月に設定しました。早速、6月8日から12日までを第1回目として、次のことを実施しました。

あじさいとは、個性を持つ生徒一人ひとりを一枚の花びらととらえ、その花びらが互いを理解し合い・認め合い・支え合うことで、つながり合い大きなあじさいの花のような集団となることを目指すために名付けられました。

生徒会は、伊敷台中の伝統である「協同学習」という取組や「友だちの話は、最後までしっかりと聴く。」「『わからないこと』は、友だちに尋ねる。」「友だちにきかれたら、丁寧に説明する。」という3つの『学び合いのマナー』を特に意識する週間であることを6月5日に全校生徒に周知しました。

また、6月8日(月)は、緒方教諭が3年1組の理科で「水溶液のイオンの濃度と体積の関係」の単元で研究授業を行い、本校が取り組んでいる「協同学習」の視点で授業研究を実施し、思考や学びを深める手立てなど、お互いの授業改善に役立てました。



◎ 学校評議委員会開催

6月11日(木)に令和2年度第1回目の学校評議委員会を開催しました。当日は6名の委員の出席を賜り、年度当初における学校経営概要説明を聞いたり、授業参観等をしたりしていただきました。

協議や質疑・応答の中で、授業の目標やまとめが

しっかりと板書され、調べ学習も充実していること。活気のある授業が展開され、生徒が落ち着いて、楽しく授業を受けていることなどを褒めていただきました。また、新型コロナウイルス対策を踏まえながら、様々な工夫により少しでも思い出の残る教育活動を期待したいという意見等が出されました。同委員会は、第2回目を11月9日（月）に予定しております。



職業講話・出前授業

3年生は、5月に職場体験学習を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止から事業所の受入れが難しいため中止することになりました。



そこで、これからの進路決定の時期を踏まえて、7月9日（木）に社会人に学ぶ（職業講話）、10日（金）に龍桜高校の出前授業を実施しました。



職業講話は、消防署伊敷分遣隊や薬剤師、新聞記者など8名の方々に、職業の特色や自分自身の進路決定に至るまでの考えなど経験を踏まえながら話していただきました。また、出前授業では、看護や医療福祉、保育などの学科の特色や授業内容などについて具体的に説明していただきました。5月の高校説明会や職業講話、出前授業、三者相談などを参考にして、将来の夢や学科の特性・カリキュラム、学校生活状況、卒業生の進路状況、通学距離など、具体的な内容項目を真剣に考えて、進路決定をしましょう。



< 学校閉庁日について >

鹿児島市立の小・中・高等学校では、8月13日～15日の3日間は、学校閉庁日となります。

保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

SNSトラブルについて

7月7日（火）、鹿児島西警察署の方を講師にお招きし、職員研修を行いました。

「SNSトラブル」について、日常に潜む危険や違法行為、安易な情報発信、SNSやネットとの付き合い方などについて話され、具体的にスマホの過度な使用やメッセージアプリ内の会話による仲間はずれ、悪意のあるWi-Fiスポット利用による情報流失、SNSで知り合った者による性犯罪被害などについての説明がありました。

例えば

★SNSトラブル～日常に潜む危険～★

過度な使用による日常生活への支障

- ・ 日常生活に浸食するスマホ依存
- ・ 連日深夜まで続く友人とのトーク
- ・ オンラインゲームの長時間利用

こんな影響が

- ・ 睡眠不足による健康面でのマイナス
- ・ 学業に集中できず、成績低下
- ・ スマホ依存症になり情緒不安定に

考えてみよう

- ・ 家庭でルールを作る
- ・ 心身に及ぼす影響を考える
- ・ 保護者が子供の利用状況を把握する

ある一部について掲載しましたが、ネットやSNSは、距離を超えて世界とつながります。そして時間を超えて様々なことを知ることでもあります。

しかし、誘惑や略奪、ストーカー、犯罪勧誘などの落とし穴もあります。危険から身を守るためには、個人情報基本的には公開しない、存在するデータは流失すると考える、投稿したデータは一生ついてまわることもある、現実世界で会おうとする人を警戒する、出会い系で近づかないなどモラルを持って、使い方には気を付けるということです。

伊敷台中生徒会、伊敷台中PTAでは携帯使用に関して、「夜9時以降は電源オフ！」に取り組んでいます。ご家庭でも不適切な使用等によりトラブルに巻き込まれることがないように、携帯・スマホに関する「使い方」について話し合ってみてください。

